

機械器具 39 医療用鉗子
一般医療機器 鉗子 10861001

高砂スライド式鉗子

【警告】*

- ① 本品表面に衝撃や振動を用いて印を刻み込む等の二次加工はしないこと。[折損の原因となる]
- ② 本品を変形あるいはキズをつける等の粗雑な取扱い及び改造を行わないこと。[製品の寿命を著しく低下させる]
- ③ 剪刀先端鋭利部及び刃部による手術用ゴム手袋等の破損及び顔面等への事故防止に細心の注意を払うこと。[感染事故の遠因となりうる]

【禁忌・禁止】*

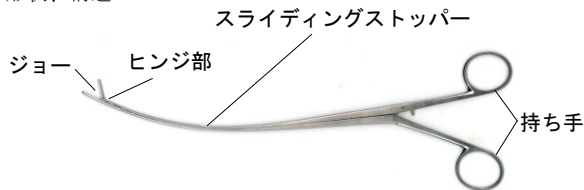
- ① 本書記載の【使用目的又は効果】以外の使用目的には使用しないこと。[誤った使用方法是本品の折損その他予期せぬ事象を招くおそれがある]

【形状・構造及び原理等】**

1. 概要 **

本品は、はさみ様の鉗子形状をしている。遠位側は緩く湾曲しており、先端は端部より約 10 mm の位置から湾曲側に向かい開閉する。先端部には長円状の開口部、及び内側に向かいギザ状のセレーションが形成されてる。

2. 形状、構造 **



(写真は製品の例を示す)

3. 原理 **

本品には、先端のヒンジを介して開閉式のジョーが構成されている。持ち手を開くことにより、鉗子本体左右の構成部分がスライドし、ヒンジ部が近位側に引かれジョーが開く。ジョーが十分に開くと、スライディングストッパーの作用により開動作は停止する。また、持ち手を閉じることによりジョーが閉じ、対象物を把持する。

4. 組織・体液に接触しうる部位の原材料：ステンレス鋼

【使用目的又は効果】**

本品は、臓器、組織又は血管を把持、結合、圧迫、又は支持する手術機器である。本品は再使用可能である。

【使用方法等】**

洗浄・滅菌方法の代表例

以下に洗浄・滅菌方法の代表例を示したが、洗浄・滅菌に当たっては院内の規定に従うこと。

1. 洗浄方法代表例

- (1) 製造元の指示に従い、中性洗剤を準備する。

- (2) 柔らかい毛のブラシあるいは柔らかく清潔な布で、洗浄液に浸したまま手で本品を洗浄する。溝部分などは念入りにブラシで洗浄する。
- (3) 温水で少なくとも 1 分以上流し、十分すすぐ。
- (4) 洗浄後、目視にて血塊等がないことを必ず確認する。
- (5) 清潔な柔らかい布を用い、完全に水気を取る。

2. 滅菌方法代表例（滅菌条件）

本品は出荷時、未滅菌であるため、使用時及び再使用時には適切な方法で洗浄し、以下の条件又は各医療機関で検証された条件により高圧蒸気滅菌を行い、滅菌後の無菌性の保証については、各医療機関にて行うこと。

高圧蒸気滅菌（日本薬局方／微生物殺滅法）

115～118℃	30 分間
121～124℃	15 分間
126～129℃	10 分間

【使用上の注意】**

1. 重要な基本的注意

- (1) 本品の先端部は特に取り扱い、洗浄・滅菌方法、保存状態によって、腐食、損傷、破損、搔きキズなどを生じさせるおそれがあるので注意すること（ステンレス鋼は錆びにくい金属だが、保存状態によっては錆が発生することがある）。また、異常が見られる状態（腐食、ひび、欠け、曲り、磨耗）では使用しないこと。
- (2) 本品は乾燥した場所に室温で保管すること。*
- (3) ①本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
②本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその感染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。
③本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った対応を行うとともに、プリオン不活性化に必要な洗浄、滅菌が行われないうまま別の患者に使用されることがないようにすること。

[令和 3 年 7 月 13 日 医政総発 0713 第 1 号/医政地発 0713 第 1 号/健難発 0713 第 3 号/薬生機審発 0713 第 1 号/薬生安発 0713 第 1 号/薬生監麻発 0713 第 21 号に基づく記載] **

【保守・点検に係る事項】

- ・ 日常点検及び使用前点検を行い、正常に作動していることを必ず確認すること。
- ・ 本品の使用後は血液、体液が乾燥する前に直ちに洗浄を行うこと。

機械器具 39 医療用鉗子
一般医療機器 鉗子 10861001

高砂スライド式鉗子

- ・血液や残片物を取り除き、稼動部分が全て十分に洗浄されているかを確認すること。また、洗浄時に他の器具との接触による損傷をさせないように配慮すること。
- ・洗浄後は直ちに乾燥させ、湿った状態で必要以上に長時間放置しないこと。ステンレス鋼は錆びにくい材質ではあるが、保存条件によっては腐食が発生することがある。
- ・本品が漂白剤、消毒液等の塩素及びヨウ素を含む溶液にさらされた場合には、直ちに流水で洗浄すること。

この添付文書は、本品を安全にご使用いただくためのものです。
この添付文書をよくお読みになり、内容を十分ご理解された上で
ご使用ください。

【主要文献および文献請求先】**

令和元年度厚生労働科学研究「プリオン病のサーベイランスと感染
予防に関する研究班」及び日本神経学会
「プリオン病感染予防ガイドライン（2020 年版）」
http://prion.umin.jp/guideline/pdf/cjd_2020v6.pdf
[令和 3 年 7 月 13 日 医政地発 0713 第 2 号/健難発 0713 第 1 号より]

【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称等】**

〔製造販売業者〕
高砂医科工業株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-42-2

お問い合わせ窓口：
TEL:03-3815-0156 FAX:03-3815-5361